

平成 24 年度第 4 回うらやす市民大学運営委員会議事要旨

- 日 時 : 平成 25 年 1 月 28 日 午前 10 時 00 分～11 時 30 分
- 場 所 : うらやす市民大学受講室
- 出席者 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、山本委員、早坂委員、
豊田委員、石川委員、金子委員（中山委員代理）、伊藤委員
- 事務局 : 岩波事務長、杉山副主幹、高柳主任主事、
協働推進課 村田、増田、斎藤

■会議次第 :

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 議事
 - (1) 平成 25 年度授業科目編成について
4. 報告事項
 - (1) 学生会（活動報告）
5. 事務連絡
6. 閉会

■議事概要 :

- (1) 平成 25 年度授業科目編成について

■決定事項

- ・平成 25 年度授業科目(17 講座)の了承を得た。
- ・次回の運営委員会開催を 5 月 10 日(金)午後とした。

□事務局説明概要

- ・本講座は全 18 科目（出会い 3 科目、気づき 5 科目、担い 8 科目、学生企画 2 科目）を予定している。コマ数は 235 コマ（本年度：237 コマ）となり、本年度とほぼ同数となっている。
- ・初回授業は 6 月に実施する予定。
- ・今年度より引き続きコーディネートを務めていただく先生は 15 名、新規にコーディネートを務めていただく先生は 3 名（ネクストステージ、地域コミュニティ、学生企画）となっている。

○必須科目

平成 25 年 6 月 8 日(土)文化会館小ホールで開催する予定。まず、古在学長に市民大学開講のねらいや思い、またこれから求められる市民力についてお話しいただき、その後、松崎市長に浦安の現状と課題についてお話しいただく予定。

○教養科目（出会い）

- ①世界：山内副学長がコーディネーターを務めていただいている大変人気のある科目。来年度も、魅力的な講師を人選していただいている。
- ②経済：コーディネーターを依頼している西川先生のご都合により、返答待ちの状況。
- ③健康：コーディネーターは、引き続き伊藤先生にお願いしており、内容は本年度とほぼ同じ内容。日程は今後調整していく。

○教養科目（気づき）

- ④子育て：コーディネーターは、引き続き佐谷先生にお願いしている。内容は本年とほぼ同じ内容。市民大学の中では唯一、30代の女性をターゲットとした科目となっている。
- ⑤学校：コーディネーターは、引き続き大橋先生にお願いしている。内容は本年と同内容。授業を通じて教育委員会との連携が取れつつある。今後より具体的な学校支援につながるような授業内容にしていきたいと考えている。
- ⑥ネクストステージ：新規科目。コーディネーターは千葉県内で幅広い市民活動を支援され、実績もあるちば市民活動・市民事業サポートクラブの事務局長である鍋嶋先生にお願いしている。地域で自分にあった活動を見つけ、人生をより豊かに歩むきっかけとなるような授業内容となっている。この講座の受講を通じて、市民活動や地域貢献につながる活動が増えることを期待している。
- ⑦歴史：コーディネーターは、引き続き岩下先生に依頼。本年度まで出会い科目として座学中心に行っていたが、来年度は、受講生自身が積極的に浦安の歴史を研究し、執筆活動を行うことを予定しており、気づき科目に設定している。
- ⑧コミュニティ：学生会運営企画部会の強い要望を受け、3期ぶりに実施。コーディネーターは、淑徳大学の石川先生に依頼。コミュニティのあり方や役割、浦安における地域コミュニティを再発見するとともに、自分たちに何ができるかを考える授業内容となっている。

○専門科目（担い）

- ⑨ブランド：本年の「うらやす里海シティを創る」にあたる科目。里海シティを創る会と宮崎先生が共同コーディネーターを務める。里海シティを創る会は、里海講座修了生が立ち上げた団体。今回は、食をテーマにうらやすブランドを創り上げる内容となっている。
- ⑩園芸：コーディネーターは、引き続き賀来先生に依頼。園芸の基礎知識を学びながら実践を通じて、市民協働による花と緑の街づくりを考える授業内容となっている。座学、校外学習、見学、実践など盛りだくさんの内容。

- ⑪街づくり：阪本副学長がコーディネーターを務めていただいている科目。街の実態や行政の取り組みを学びながら、新しい提案を考え、街を創る市民となっていくことを目的とし、「住宅地の良好な環境を守る」、「公園や緑の環境をさらに魅力的にする」、「市街地の今後を考える」をテーマにグループ提案を行うという内容。
- ⑫防災：コーディネーターは、引き続き細川先生に依頼。内容は、本年とほぼ同じ内容。授業は、座学、ワークショップ、実験、実技、実践というような構成となっている。
- ⑬環境：浦安の環境保全が実践できるようにグループに分かれ、環境行動計画の作成を目指すという内容。コーディネーターの山本先生の強い希望により、修了生が講師となる授業も予定している。
- ⑭高齢：引き続き、岩室先生にコーディネーターを依頼。高齢者が浦安で生きがいを感じながら生活するために、社会のなかで自分が果たすべき役割を一緒に考えるという内容。今回は、特に「市民協働でできることは何か」を強く意識し、協働講座を担当いただく関谷先生に講義いただいたり、協働講座の受講生とのコラボ講座も予定している。
- ⑮協働：引き続き、関谷先生にコーディネーターを依頼。昨年度の「考える」から「創る」という一歩進んだタイトルとなっている。地域の諸問題を把握し、解決に向けて市民と行政が連携して取り組む「協働」を理解し、実践する内容。
- ⑯介護：引き続き、大淵先生にコーディネーターを依頼。昨年度に引き続き、本年度もかなり実践的な内容。東京都健康長寿医療センターの先生方に講師を務めていただいております、科目の成果として、一冊の冊子にまとめている。

○学生企画

- ⑰浦安物語：学生会事業部会長で、郷土博物館ボランティアの大橋さんにコーディネーターとなっている。浦安市民として浦安の歴史をひもといて、これからの浦安をも学習するという内容。元漁師、うらやすの古き良き時代を生きてきた人に講師を予定している。
- ⑱元町：コーディネーターは、引き続き繁治さんが行う。元町の再整備と昔ながらの場所に着目し、高齢者の多い中町の課題解決につなげるような模擬プロジェクトを立ち上げ、市民の新たな発想で街中の生活拠点づくりを行う内容。

□学生会活動報告

- ・介護予防・認知症予防フェアの学生会後援による開催報告
- ・冊子制作編集委員会の作業状況報告

□主な意見

- ・担い手講座を中心に、各担当課が積極的に関わっているもの程、団体やサークル、研究会が立ち上っている。
今後も各講座の進行管理や授業の参加について、担当課に働きかけるよう要望する。
- ・担当課との関わりや連携をより強めていく、ということも大変良いことである。
加えて、次の段階として市内で活動している既存の市民団体も参加するようになれば広がりが出てくると感じている。
- ・市民大学は担い手育成を事業目的。
一部の講座では、修了生がコーディネーターや講師役の「担い手」となってきた。そうした出口論も市民大学として積極展開して良いのではないか。
- ・行政職員が受講生(職員研修の一環として)として参加する。
担当課をはじめ、行政が関わりを深くする意味では有効な手段と考える。研修担当課に働きかけてほしい。
- ・市民大学の講義内容の一部をネット配信することは大学をPRする上で有効である。
たとえば名物講師の授業の一部を市民大学HPから配信することを検討してほしい。
情報を様々な手法で発信する時期に来ていると感じているので、今後の課題として考えてほしい。
- ・聴講制度の拡大も検討して良いと思う。
これまでは、学生であることが要件であったが、一般の方もこれから市民大学への入学検討に役立てられるよう、体験受講的な視点を検討したらどうか。
- ・有料講座(本講座)と無料講座(学生会等のオープン講座)の整理が必要。
ただ、授業のすべてを受講する場合は有料。その一部(さわり)に関しては無料という方向が良いのではないか。

(多くの担い手を輩出するための方策、情報発信手段などに関して、多くの意見が出され、今後の検討事項となった。)

以 上